令和６年８月６日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－８

令和５年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【日吉町
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	４事業
事業費総額 （決算時）	１，７１５，４８３円
交付金決定額 （うち加算額）	９２６，０００円 （０円）
交付金決算額	９２６，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書　Ｐ１　～Ｐ１３
・事後評価調書　Ｐ１４～Ｐ１７
・参考写真
（令和５年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ１８～Ｐ２１

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和６年４月　１０日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市日吉町４０９３番地の２
名称：日吉町まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　渡邉　俊美　　㊞

夢づくり地域交付金実績報告書

令和５年５月２２日付瑞浪市指令第８９号の６で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
１．特産品開発事業
２．日吉町活性化事業
３．まちづくり情報発信事業
４．教育文化事業
（　　）基金積立事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

特産品開発事業

２　活動報告（活動内容等）

平成２１年度より特産品開発として取り組んでいる椎茸の原木栽培は１５年目を迎え、「きなぁた瑞浪」にも出荷し日吉町の特産品として定着しました。
安定した出荷ができるよう、今年度は、８５０本のほだ木を確保し、植菌しました。
きなぁた瑞浪への出荷だけではなく、日吉公民館の「ひよし軽トラ市」での販売、ふるさと納税の返礼品として町内外へ日吉町の特産品としてＰＲすることができました。購入した方に満足していただけるよう、品質の向上に努めました。
農産物加工所「天狗の台所」においては、開所１２年が経過し、利用者が増えてきました。令和６年度の移転に向け、しいたけやその他の農産物を使用した加工品の開発のため、中部大学とオンライン会議を行い、今後の協力をお願いしました。
今後も引続き６次産業化を目指し原木栽培による椎茸生産、乾燥加工した農産物など広く地域に呼びかけて普及に努めていきます。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

原木の確保（購入及び菌打ち）850本（600本）　　（　　）目標数
まちづくりほだ木所有数＝6,000本
椎茸（生）収穫実績＝355kg（350kg）　椎茸加工（乾燥）＝23kg（30kg）
ふるさと納税返礼品＝2件　農産物加工所利用料＝40件　69,200円
きなぁた売上＝305,250円　その他売上＝163,882円

４　事業に要した経費（総事業費）

833,768　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

176,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	椎茸収穫開始（春分）	委託料	50,000
	天狗の台所一般利用（通年）	備品費	3,605
	乾燥しいたけ販売（通年）	消耗品費	25,798
		手数料等	1,400
	きなぁた瑞浪への出荷	手数料等	48,639
		消耗品費	499
	しいたけ乾燥（通年）	光熱水費	205,301
５月	椎茸ほだ木管理(通年)	委託料	100,000
		使用料等	20,000
６月	本伏せ作業	消耗品費	288
		光熱水費	3,260
		食料費	2,725
７月			
８月	天狗の台所　特産品開発	原材料費	1,296
９月			
１０月			
１１月	椎茸収穫開始（秋分）		
１２月			
1月			
２月			
３月	原木購入	消耗品費	259,000
		手数料等	600
		保険料	2,430
	椎茸菌打ち	消耗品費	76,560
		食料費	32,367
合計			833,768

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	176,000	176,000	
自主財源	394,000	188,636	
その他（しいたけ売上）	500,000	469,132	
合　　計	1,070,000	833,768	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
原木購入経費	原木、菌購入	消耗品費	300,000	259,000	
		手数料等	0	600	
		保険料	0	2,430	
		小計	300,000	262,030	
植菌作業経費	植菌作業 菌の購入	消耗品費	70,000	76,560	
		食料費	30,000	32,367	
		小計	100,000	108,927	
管理経費	ほだ木の管理	委託料	120,000	120,000	
	加工所経費	委託料	50,000	50,000	
		小計	170,000	170,000	
天狗の台所	移転調査費	消耗品費	20,000	0	
	備品	備品費	200,000	3,605	
		小計	220,000	3,605	
本伏せ経費	本伏せ経費	消耗品費	145,000	288	
		食料費	5,000	2,725	
		光熱水費	0	3,260	
		小計	150,000	6,273	
販売経費	きなぁた瑞浪手数料	手数料等	55,000	48,639	
	きなぁた瑞浪ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ	消耗品費	5,000	499	
	販売用	消耗品費	50,000	25,798	
		手数料等		1,400	
	ふるさと納税返礼品送料	通信費等	10,000	0	
	しいたけ乾燥	光熱水費		205,301	
		小計	120,000	281,637	
特産品開発経費	特産品開発	消耗品費	10,000	1,296	
		印刷費	0	0	
		小計	10,000	1,296	
合　　計			1,070,000	833,768	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

日吉町活性化事業

２　活動報告（活動内容等）

日吉町北野にある学習工房「天神窯」周辺には、中山道（琵琶峠）や天狗塚、マレットゴルフ場などの自然景観、体験型があり、観光拠点であります。この拠点施設である天神窯では、４年ぶりに「天神窯春まつり」を開催でき、町内外より多くの観光客を誘客しました。

バーベキュー施設の利用もコロナ禍以前に戻ってきており、天神窯東屋のバーベキューエリアや天狗塚登山道の草刈りなどの整備を実施しました。また、小学５年生対象の出前講座や里山体験学習を行い、自然観察・森林の管理の体験を通じた青少年の育成に努めました。

ＪＡとうと日吉支店・日吉幼児園・日吉小学校ＰＴＡとの合同事業でもある農園（にじいろファーム）さつまいもの植付け、収穫体験などを通して幅広い年齢層の町民の場となりました。また、老朽化していた看板を新調し、収穫祭にてお披露目しました。

地域住民が参加した３回のワークショップを通じ、『こんな地域で暮らし続けたい将来像』と『わたしたち自身が取り組むこと』について話し合い、１０年後に向けた地域計画策定を取りまとめた。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

天神窯春まつり	参加人数＝500人	（400人）	（　　）目標数
中山道周辺整備	参加人数＝ 60人	（60人）	
天神窯周辺整備	参加人数＝ 80人	（100人）	
日吉町夏まつり	参加人数＝700人	（800人）	
農園事業	参加人数＝400人	（250人）	
里山体験学習	参加人数＝ 44人	小学5年生ほか（50人）	

４　事業に要した経費（総事業費）

429,050　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

301,790　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	天狗塚登山道環境整備 天神窯春まつりの開催 東屋の管理（通年）	消耗品費 通信費等 手数料等 消耗品費 食料費 保険料	131,900 660 110 1,285 31,576 8,142
５月	さつまいも苗植え、管理（通年）	消耗品費 光熱水費	10,000 1,605
６月	中山道周辺整備（草刈等）		
７月	日吉町夏祭り開催	消耗品費 通信費等 食料費 報償費	49,871 6,552 22,900 4,808
８月	地域計画策定ワークショップ開催①		
９月	地域計画策定ワークショップ②	食料費	3,473
１０月	中山道環境整備（草刈） 地域計画策定ワークショップ③	 食料費	 1,737
１１月	農園収穫祭 里山体験学習 天狗塚登山道環境整備	消耗品費 光熱水費 消耗品費 使用料等 食料費 光熱水費	103,656 6,050 1,832 29,150 3,343 6,800
１２月			
１月			
２月	地域計画策定発表会	印刷費	3,600
３月			
合計			429,050

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	320,000	301,790	
自主財源	545,000	53,660	
の他（　　イベント売上・利用料		73,600	
合　　計	865,000	429,050	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
天神窯活性化経費	天神窯春まつり	消耗品費	200,000	131,900	
		保険料	0	8,142	
		食料費	0	31,576	
		通信費等	0	660	
		手数料等	0	110	
	天神窯周辺整備	原材料費	15,000	0	
		消耗品費	15,000	1,285	
	天神窯東屋修繕	消耗品費	300,000	0	
		小計	530,000	173,673	
中山道整備事業経費	天狗塚登山道・中山道環境整備	消耗品費	20,000	0	
		光熱水費	10,000	6,800	
		原材料費	30,000	0	
	里山体験学習	食料費	10,000	3,343	
		使用料等	30,000	29,150	
		消耗品費	0	1,832	
		小計	100,000	41,125	
夏まつり事業経費	日吉町夏祭り	消耗品費	70,000	19,211	
		食料費	0	22,900	
		通信費等	0	6,552	
		報償費	0	4,808	
	うちわ購入	消耗品費	50,000	30,660	
		小計	120,000	84,131	
農園事業経費	さつまいも畑	光熱水費	20,000	7,655	
		消耗品費	60,000	112,886	
		手数料等	0	770	
		小計	80,000	121,311	
姫街道事業経費	ＰＲ活動費	旅費	5,000	0	
	輿及び衣装の管理	消耗品費	20,000	0	
	中山道往来	食料費	10,000	0	
		小計	35,000	0	
地域計画策定経費	ワークショップ	食料費	0	5,210	
		印刷費	0	3,600	
		小計	0	8,810	
合　　計			865,000	429,050	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　活動報告（活動内容等）

まちづくり便りを年６回全カラー刷りし全戸配布しました。地域と密着した情報やテーマをより多く掲載し、身近な情報誌として発行できました。
「まちづくりホームページ」を見やすく活用しやすいものにするようこころがけました。またインスタグラムでも最新情報を発信し、町内外の方が様々なツールで日吉町の情報を入手できるようにしました。
また、町内３箇所に設置してあるお知らせ看板を活用し、町内の行事を広くＰＲすることができました。
空き家対策委員会では、年３回の会議を行い、１回は、今年度新しく設立したいい移住委員会と合同で行いました。いい移住委員会では、年８回の会議を行い、空き家見学ツアーを開催し、その成果として１組の移住が決定しました。釜戸等の空き家対策団体と情報交換を行うとともに、区長会や空き家対策委員会と連携して空き家情報の収集に努め、２軒の空き家バンクへの登録を促すことができました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

情報誌「まちづくり便り」：６回発行
まちづくりホームページ：年間アクセス数　48,591人
インスタグラム　　：フォロワー数　　374人
移住件数　　：１件
お知らせ看板：町内行事のＰＲを行いました

４　事業に要した経費（総事業費）

263,297　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

260,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	まちづくり便り９５号発行 いい移住委員会	印刷費 消耗品費 食料費	30,600 5,940 700
６月	いい移住委員会	印刷費	1,334
７月	まちづくり便り９６号発行 空き家対策・いい移住委員会	印刷費 食料費	30,600 1,334
８月			
９月	まちづくり便り９７号発行 空き家対策・いい移住委員会	印刷費	30,600
１０月	文化祭　終活相談会 フェア参加	消耗品費 旅費	1,655 1,540
１１月	まちづくり便り９８号発行 いい移住委員会	印刷費	30,600
１２月	いい移住委員会	食料費 消耗品費	1,737 2,970
１月	まちづくり便り９９号発行 空き家対策・いい移住委員会合同会議	印刷費 食料費	28,800 1,737
２月	いい移住委員会 ホームページ更新	使用料等 手数料等	63,580 770
３月	まちづくり便り１００号発行 いい移住委員会	印刷費	28,800
合計			263,297

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	260,000	260,000	
自主財源	76,000	3,297	
その他（　　）			
合　　計	336,000	263,297	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
まちづくり便り印刷経費	日吉町まちづくり便り等の発行	印刷費	188,000	180,000	
		消耗品費	20,000	8,910	
		備品費	20,000	1,655	
		小計	228,000	190,565	
ホームページ維持・管理経費	ホームページ維持費 PR用デザイン	使用料等	58,000	63,580	
		手数料等	0	770	
		報償費	20,000	0	
		小計	78,000	64,350	
空き家対策・いい移住委員会	空き家情報会議費	消耗品費	20,000	0	
		食料費	10,000	6,842	
		旅費		1,540	
		小計	30,000	8,382	
合　　計			336,000	263,297	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

教育文化事業

２　活動報告（活動内容等）

将来のまちづくりの担い手である青少年に対し教育部会、青少年部会、民生部会の３部会が支援活動を実施しました。

○教育部会

大湫町まちづくり推進協議会主催の中学生と語る会へ参加（テーマ・中山道大湫宿を散策して大湫宿の歴史を感じる）

子どもたちが考えたあいさつ運動の標語、１４作品をのぼり旗にしました。

○青少年部会

花いっぱい運動を行い、６月にマリーゴールド・千日紅・サルビアを町内施設及び希望者に配布しました。また、町内文化財の保護及び保全活動として９月に弁財天池の外来種駆除及び草刈りを実施しました。１２月には町内一斉缶拾いを開催し町内の美化に努めました。

○民生部会

地域の安全・安心を守るためを青色回転灯防犯パトロールと「下校時のバス待ち児童の見守り」と併せて実施し、見守り時に着用するベストを購入しました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

青色回転灯防犯 各種行事参加者	パトロール参加者＝78人（100人） 中山道往来＝426人 花壇づくりによる環境美化＝250人 町内一斉空き缶拾い＝600人	（　　）目標数

４　事業に要した経費（総事業費）

189,368　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

188,210　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	防犯パトロール(青パト）の実施（通年） 古文書初心者教室（通年）	印刷費	2,160
５月		通信費等	1,176
６月	花壇づくりによる環境美化(花苗代)	消耗品費	60,500
７月	見守り隊（ベスト）	消耗品費 手数料等	48,620 770
８月			
９月			
１０月		通信費等	672
１１月	中山道往来	印刷費 食料費 報償費 通信費等	6,120 13,208 5,000 1,092
１２月	町内一斉空缶拾い		
１月			
２月			
３月	あいさつ運動　のぼり旗	消耗品費 手数料等	49,280 770
合計			189,368

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	170,000	188,210	
自主財源	120,000	1,158	
その他（　　）			
合　　計	290,000	189,368	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
教育部会 事業経費	中山道往来への参加	印刷費	5,000	6,120	
		消耗品費	10,000	0	
		食料費	35,000	13,208	
		報償費	0	5,000	
	のぼり旗	消耗品費	0	49,280	
		手数料等	0	770	
		小計	50,000	74,378	
青少年部会 事業経費	木かげ教室の開催	消耗品費	20,000	0	
	花壇苗配布	消耗品費	120,000	60,500	
	町民教室開催	使用料等	10,000	0	
	町民一斉空缶拾い	消耗品費	10,000	0	
	公民館で遊ぼう、百人一首大会等の開催	消耗品費	10,000	0	
		小計	170,000	60,500	
民生部会 事業経費	青パト実施及び講習会見守りベスト	消耗品費	5,000	0	
		通信費等	5,000	2,940	
		消耗品費	50,000	48,620	
		手数料等	0	770	
		小計	60,000	52,330	
文化財事業	古文書教室	印刷費	5,000	2,160	
	文化財保全活動	消耗品費	5,000	0	
		小計	10,000	2,160	
合　　計			290,000	189,368	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区

事業番号　1

事業名　特産品開発 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	ほだ木の確保600本　椎茸収穫量350kg　加工商品化30kg　ふるさと納税返礼品　15件	3
		実績値	ほだ木の確保　850本(H21年～累計数6,000本) 椎茸生産実績＝355kg(生)　椎茸加工実績＝23kg　加工所一般利用＝40件 きなあた売上＝305,250円　その他売上＝163,882円 ふるさと納税返礼品　2件	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	日吉町農産加工所の有効活用。しいたけ以外の粉末化した加工品の用途研究及び新たな特産品が必要である。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22
今後の事業展開の方向性		○ 1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		しいたけの原木栽培は15年目を迎え、きなあた瑞浪へ出荷、日吉公民館主催の「軽トラ市」への出店、贈答品として受注、ふるさと納税の返礼品として全国へ日吉町の特産品としてPRすることができた。購入者に満足していただけるよう、品質のよい出荷に努めた。今後の生産安定化のためにも継続的にほだ木(原木)を確保する必要がある。 農産物加工所は開所12年が経過し、利用者が増えてきた。令和6年度に『天狗の台所』の移転するにあたり、加工製品の拡充を図るため菓子製造業等の許可施設が取得できる施設にするため、ステップアップ事業の申請を行いました。しいたけやその他の農産物を使用した製品を新たに開発するため、域学連携による中部大学とオンライン会議を行い、今後の協力のお願いをした。	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区

事業番号　2

事業名　日吉町活性化 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	天神窯春まつり 参加者数 400名 中山道周辺整備 参加者数 60名 天神窯周辺整備 参加者数 100名 日吉町夏祭り 参加数 800名 農園事業 参加者数 250名 里山体験学習 参加者数 50人	3
		実績値	天神窯春まつり 参加者数 500名 中山道周辺整備 参加者数 60名 天神窯周辺整備 参加者数 80名 日吉町夏まつり 参加者数 700名 農園事業 参加者数 400名 里山体験学習 44名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解消	課題の内容	天神窯周辺施設(マレットゴルフ場、天神窯東屋、天狗塚)を活用したエリアの活性化。弁財天の池の生態系の維持。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				23
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		4年ぶりに天神窯春まつりや日吉町夏祭りを開催することができた。JAとうと日吉支店、日吉幼児園、日吉小学校PTAとの合同事業(にじいろファーム)でのさつまいもの植付けや収穫体験など、幅広い年齢層の町民が参加しふれあいの場となった。老朽化したにじいろファームの看板を新しくし、収穫祭でお披露目ができた。 周辺に中山道(琵琶峠)、マレットゴルフ場などの観光拠点がある天狗塚では、小学5年生対象の出前講座・里山体験学習を通じ、自然観察、森林の管理の体験を学ぶ場となっている。 地域住民が参加した3回のワークショップを通じ、『こんな地域で暮らし続けたい将来像』と『わたした自身が取り組むこと』について話し合い、10年後に向けた地域計画策定を取りまとめた。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区
事業番号　3
事業名　まちづくり情報発信 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	まちづくり便り 年6回発行(全カラー刷り)、ホームページの充実とメンテナンス、インスタグラムでの情報発信 ホームページアクセス数 1日 200人、インスタグラムフォロワー数 350人	4
		実績値	まちづくり便り 年6回発行 ホームページ 年間アクセス数 48,591人 (R4年 46,905人) 1日133人 インスタグラム フォロワー数 374人 (R4年 289人)	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	年々増加している空き家対策として、『いい移住委員会』を立ち上げ、空き家対策委員会と連携して空き家バンクへの登録推進を目指す。	5
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				24
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		情報発信ツールとして定着したまちづくり便りは、地域と密着した情報やテーマを身近な情報誌として発行できた。 町内3箇所に設置してあるお知らせ看板を活用し町内の行事を広くPRすることができた。 ホームページやインスタグラムなどのSNSを活用し、積極的に町内外へ日吉町のPRを行う。 いい移住委員会を設立し、空き家バンクへの登録を目指すため、空き家対策委員会、区長会と連携し空き家の情報提供の呼びかけをした。 その成果として1組の移住が決定、2軒の空き家バンクへの登録を促すことができた。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区

事業番号　4

事業名　青少年育成支援 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	青色回転灯防犯パトロール 参加者総数 100名	3
		実績値	青パト 78名　中山道往来 426名 町内一斉空缶拾い 600名 花壇づくりによる環境美化 250名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	日吉町あいさつ運動を実施し、いつでもどこでも子どもも大人も気持ちの良い挨拶を交わす町を目指す	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		3
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				21
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		青色回転灯防犯パトロールでは、地域の安全と安心を守るため「下校時のバス待ち児童の見守り」と併せ、住民の方の協力を得て実施することができた。 子どもたちが考えたあいさつ運動の標語14作品をのぼり旗にし、各地区に配布。 日吉町内を花で彩るため、幼児園、小学校をはじめ多くの町民に花の苗を配布。 町内文化財の保護、保全活動として9月に弁財天の池の外来種駆除、草刈りを実施。地域に残る古い文献を読める人材を育成するために古文書教室を開催した。		

特産品開発事業



しいたけ植菌作業
（令和６年３月）





しいたけ収穫
（春・秋）



しいたけ圃場管理
（通年）





特産品開発（天狗の台所利用）
（通年）



乾燥しいたけ販売、ふるさと納税返礼品
（通年）



『ひよし軽トラ市』での販売
（令和５年４月～１２月 第２・第４土曜日）

日吉町活性化事業



天神窯春まつり
（令和５年４月）



にじいろファーム ～植え付け～
（令和５年５月）



里山体験学習及び事前学習
（令和５年１１月@小学校・天狗塚）



にじいろファーム ～収穫祭・新看板お披露目～
（令和５年１１月）



東海自然歩道草刈り
（令和５年６月・１０月）



地域計画ワークショップ
（令和５年８月・９月・１０月 全３回）

まちづくり情報発信事業



まちづくり便り発行（９５号～１００号）
（奇数月１日）



いい移住委員会『プロジェクトミーティング』
（８回開催）



いい移住委員会『空き家見学ツアー』
（令和５年７月　参加者６名・案内人５名）



インスタグラム更新
（通年）



ホームページ更新
（通年）

青少年育成支援事業



花いっぱい運動
（令和５年６月）



弁財天の池清掃及び外来種駆除
（令和５年９月）



中山道往来
（令和５年１１月）



「あいさつ運動」のぼり旗制作
（令和６年２月）



青色回転灯パトロール及びバス待ち児童見守り
（令和５年４月～令和６年３月　全３３回）



古文書教室
（毎月第４土曜日＊１月を除く）